

須木中だより

第5号 令和元年7月2日発行

「文月」～7月に入りました

7月は、「文月」(ふみづき)と呼ばれます。文月の由来は、ある本によると、7月7日の七夕に詩歌を献じたり、書物を夜風にさらしたりする習慣があるからというのが定説のようです。

文字に関する月ですが、最近パソコンや携帯電話のメール等が多く、実際に文字を使って書くことが少なくなってきています。

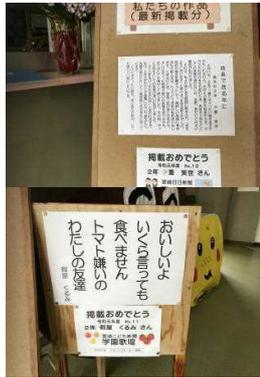
中学生の時期は、文字をきちんと書いたり、文書をしっかりと理解したりすることが大切です。特に、最近では文章を早く正確に読み取ることが重要視されています。新聞に本校の生徒の作文・詩・短歌・俳句がよく掲載されます。たいへんうれしいことです。

「書く」ことによって考えたりまとめたりする力が身に付いてきます。これからも作品作りにチャレンジしてほしいと思います。

さて、今月は、1学期前半のまとめの月です。生徒一人一人がこれまでの学習への取組、学校での生活、家へ帰ってからの生活等を振り返る機会にしてほしいと思っています。また、保護者の皆様も子どもさんと一緒になって振り返ってみてはいかがでしょうか。夏休みに入ると、三者相談が始まります。それぞれが振り返ったことと先生方の思いを大切に相談が行われ、子どもの成長につながっていくことを願っています。

令和元年度「生徒総会」を開催

6月21日(金)に生徒総会を開催しました。本年度の生徒会のスローガンは『「輝」～だれもが主役で、みんなが挑戦する生徒会～』に決定しました。また、今回の討議題「みんなが夢中になれる何かに取り組もう」について熱心に話し合いが展開されました。子どもたちのこれからの活動に期待しています。



ドリームジャンボ学園

小林市社会福祉協議会主催の職業学習支援事業である「ドリームジャンボ学園」。今年度は年間5回を予定していますが、その第1回目が6月6日(木)に行われました。今回は、小林市立病院より臨床工学士・理学療法士・看護師等の方々を講師に、診療に関する器具の説明や実習を行っていただきました。子どもたちは、目を輝かせ、楽しく学習に参加していました。関係の皆様に関心から感謝いたします。ありがとうございました。



学校運営協議会

6月5日(水)に学校運営協議会を開催しました。委嘱状交付、役員選出の後、本年度の学校経営方針等について説明を行い、委員の方よりご意見をいただきました。この会を通じて、地域に開かれた学校づくりに一層取り組んでいきたいと思えます。

須木中学校運営協議委員は、次の3名の皆様です。

- ◇ 片地 洋平 様 (会長)
- ◇ 山中 悦郎 様 (副会長)
- ◇ 八重尾 精子 様 (委員)

また、終了後に、須木中学校区連絡協議会も行われました。

役員さんは次の方です。よろしくお願いいたします。

- ◇ 小牧 愛子 様 (会長)
- ◇ 夏木 政和 様 (副会長)

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。



読み聞かせ

本年度第1回目を6月14日(金)に実施しました。小林市立図書館須木分室の山下亮介様と旧鳥田町保育園の園長先生をされていた大坪朋子様のお二人が読んでくださいました。久しぶりの読み聞かせということもあって、生徒・職員ともに熱心に聴き入っていました。ありがとうございました。

【大雨】1日は、県内で大雨が降り、本校も臨時休業日として対応しました。保護者の皆様には、朝の連絡確認等でたいへんご迷惑をおかけしました。今後このような状況が予想されます。朝6時30分までには連絡が確実に届くようにいたしますので、ご理解とご協力をお願いします。

